



ほご  
**保護のしおり**



所沢市イメージマスコット

トコロん

この「しおり」は生活<sup>せいかつ</sup>保護<sup>ほご</sup>の制度<sup>せいど</sup>について説明<sup>せつめい</sup>したものです。

わからないことや、相談<sup>そうだん</sup>のあるかたは

お気軽<sup>きがる</sup>に市役所<sup>しやくしよ</sup>高層棟<sup>こうそうとう</sup>2階生活福祉課<sup>かいせいかつふくしか</sup>まで

お声<sup>こえ</sup>かけください。

また、電話<sup>でんわ</sup>によるお問い合わせ<sup>とあ</sup>も可能<sup>かのう</sup>です。

ところざわしふくしじむしょ  
所沢市福祉事務所

ところざわしやくしよ せいかつふくしか  
(所沢市役所 生活福祉課)

(☎04-2998-9201)

令和4年6月版

# せいかつ ほ ご 生活保護について

## ● せいかつ ほ ご 生活保護とは

ねんきん きゅうよ しゅうにゅう せたい き さいていせいかつひ  
年金や給与などの収入が世帯ごとに決められる「最低生活費」  
したまわ せたい じぶん しさん のうりよく せいど  
を下回るかた（世帯）で、自分の資産や能力、さまざまな制度を  
かつよう せいかつ いじ せたい たい  
活用しても生活を維持することができないかた（世帯）に対して、  
くに けんこう ぶんかてき さいていげんど せいかつ ほしょう にっぽんこくけんぽうだい  
国が「健康で文化的な最低限度の生活」を保障する日本国憲法第  
じょう せいかつほごほう さだ せいど  
25条や生活保護法で定められた制度です。

## ● せいかつ ほ ご もくてき 生活保護の目的

せいかつ ほ ご しさん のうりよく かつよう せいかつ こま  
生活保護は、資産や能力を活用しても生活に困るすべてのかた  
たい こんきゅうじょうたい おう ひつよう ほ ご おこな せいかつ  
に対し、困窮状態に応じて必要な保護を行い、その生活が  
ほしょう じりつ せいかつ おく しえん  
保障されるとともに、自立した生活が送れるよう支援することを  
もくてき  
目的とします。

# ●生活保護利用までの流れ



さまざまな理由で、生活が成り立たなくなってしまうことがあります。そんな時には、福祉事務所に一度ご相談ください。生活保護の利用だけでなく、そのかたがたの問題解消のため、ご協力いたします。なお、生活保護の利用の際には、以下の手続きを経ることとなります。

## ①相談

お住まいの地域の福祉事務所に相談し、お困りの内容をご相談ください。

## ②申請

保護の申請意思のあるかたは、生活保護を利用するための申請書類を提出します。

## ③調査

保護の申請をされますと調査員が生活状況、資産状況などを調査します。調査の結果、生活保護が利用できるかどうかを審査します。

## ④利用開始

保護の利用が決定したら、保護費の支給が始まります。また、ケースワーカーによる自立に向けた支援が開始されます。

それでは、<sup>じょうき</sup>上記1～4の<sup>なが</sup>流れに<sup>そ</sup>沿って<sup>せつめい</sup>説明していきます。



## ①相談（生活にお困りになったら・・・）

<sup>せいかつ</sup>生活に<sup>こま</sup>困っている、<sup>せいかつほご</sup>生活保護を<sup>りよう</sup>利用したいと思ったら、<sup>おも</sup>福祉  
<sup>じむしょ</sup>事務所に<sup>そうだん</sup>相談しましょう。相談時には、<sup>そうだんじ</sup>生活<sup>せいかつじょうきょう</sup>状況や<sup>しさん</sup>資産  
<sup>じょうきょう</sup>状況、<sup>しんぞく</sup>ご親族との<sup>こうりゅうじょうきょう</sup>交流状況などを<sup>かくにん</sup>確認させていただきます。  
す。プライベートな部分もあるため、<sup>はなし</sup>お話しは<sup>かのう</sup>可能な<sup>はんい</sup>範囲で<sup>かま</sup>構いませんので、<sup>きがる</sup>お気軽にご<sup>そうだん</sup>相談ください。相談の中で、<sup>そうだん</sup>生活<sup>なか</sup>保護<sup>せいかつほご</sup>制度  
について<sup>くわ</sup>詳しく<sup>せつめい</sup>説明を<sup>き</sup>聞き、<sup>せいかつほご</sup>生活<sup>りよう</sup>保護<sup>ひつよう</sup>の利用が<sup>ばあい</sup>必要な場合には  
<sup>しんせい</sup>申請をしてください。また、<sup>らいしょ</sup>来所だけでなく、<sup>でんわ</sup>電話での<sup>そうだん</sup>相談もで  
きます。

## ②申請（意思があればどなたでも）

生活保護の利用には、本人の意思で申請することが必要です。

生活保護の申請は、福祉事務所へ申請書類を提出します。福祉

事務所に申請書類がありますので、お受け取りいただき、記入し

てください。また、申請に伴い、調査に必要な書類や資産

状況を確認できる資料などを求めることがあります。

なお、何らかの事情で本人が申請できないときは、親族などが

代理で申請することもできます。

※明らかに急迫した状況にあるときは、本人からの申請がな

くても、福祉事務所が職権（職員の判断）で生活保護の利用を

開始する場合があります。

### ③調査（調査内容と制度について）

ここでは、生活保護の決定に関わるものについて説明していきます。



#### ●生活保護と資産の関係

生活保護の申請をされますと、銀行や生命保険会社などに資産調査を行います。預貯金、生命保険、土地家屋、自動車、高価な貴金属など売却や活用が可能な資産がある場合には、その資産を売却して最低生活費に充てていただくこともあります。

ただし、居住用の不動産は原則として保有が認められますし、個別の事情によっては、自動車やオートバイの保有が認められる場合もありますので、ご相談ください。

#### ●能力の活用

働ける能力があるかたは、その能力に応じて働く必要があります。ただし、病気や障害、その他の理由で働けないかたは、その問題解決を優先とします。

## ●扶養義務者について

おや こ きょうだいしまい みんぽうじょう ふようぎむ かた  
親、子ども、兄弟姉妹などの民法上の扶養義務のある方から  
えんじょ う ばあい  
援助を受けることができる場合は受けてください。

なお、しんぞく ふよう かのう はんい えんじょ おこな えんじょ  
親族の扶養は可能な範囲で援助を行うものですが、援助  
かのう しんぞく せいかつほご しんせい  
可能な親族がいることによって、生活保護の申請ができないとい  
うことにはなりません。

また、ふようぎむ かた しょうかい えんじょ きたい かた たい  
扶養義務のある方への照会は、援助が期待できる方に対  
しておこな  
行います。

えんじょ きたい かた ふようしょうかい おこな あき  
援助が期待できない方や、扶養照会を行うことにより明らかに  
じりつ さまた かた きほんてき ふくしじむしょ しょうかい おこな  
自立の妨げとなる方には、基本的に福祉事務所からの照会はい  
ませんのでじぜん そうだん  
事前にご相談ください。

(例) えんじょ きたい  
援助の期待ができないかた

- すで せいかつほご う かた  
・既に生活保護を受けている方
- さいいじょう こうれいしゃ みせいねんしゃ むしゅうにゅう かた  
・70歳以上の高齢者、未成年者、無収入の方
- とくべつ じじょう かた かていないほうりよく ぎゃくたい  
・特別な事情がある方(家庭内暴力や虐待など)
- こうりゅう とだ かた ねんていどおんしんふつう  
・交流が途絶えている方(10年程度音信不通など)

※これはれいじ  
例示です。これ以外にもいがい  
事情のある方はじじょう  
お申し出ください。

## ●ほかの制度の活用

生活保護以外にも年金、各種手当、医療助成、社会保障制度  
など、生活を支えるためのさまざまな公的な制度があります。  
活用が可能な制度がある場合には、それらを優先して活用して  
いただきます。



## ● 生活保護のしくみ

さまざまな調査をしたあと、生活保護の利用ができるかどうかの審査を行います。

審査にあたっては、生活費や住居費、医療費などで算定される最低生活費（世帯単位）と世帯の収入（給料、各種手当、養育費なども含みます。）を比較して判定します。下図のように、最低生活費に対し、世帯の収入が不足する場合は生活保護を利用し、不足部分を補います。自分で得ることができる収入が最低生活費を超える場合には、生活保護の利用はできません。

（例）

最低生活費(世帯の人数や年齢などによって決定されます。)	
世帯の収入(就労収入、年金、手当、仕送りなど)	不足してしまう生活費



生活保護費

※保護費は、世帯員の年齢や人数、その世帯の収入額、冬季の暖房費、家賃額などで決定されますので、常に一定のものではありません。

●<sup>けっかつうち</sup>結果通知

<sup>いじょう</sup> 以上のような<sup>ちょうさ おこな</sup>調査が行われ、<sup>しんせい ひ</sup>申請した日から<sup>げんそく</sup>原則として 14

<sup>にちいない とくべつ</sup> 日以内（<sup>じじょう ちょうさ</sup>特別な事情で調査に<sup>じかん よう</sup>時間を要する場合には<sup>ばあい</sup>最長で<sup>さいちょう</sup>30

<sup>にちいない</sup> 日以内）に<sup>せいかつほご りよう</sup>生活保護の利用ができるかどうかの<sup>けっか つうち</sup>結果が通知されま

す。

## ④利用開始（生活保護が始まったら…）

生活保護の利用が決定したかたには、担当するケースワーカーが自立に向けた支援を行っていきます。

### 生活保護の種類

生活保護を利用するかたは、生活上の必要に応じて次に掲げる扶助を受けられます。



<p>生活扶助</p>	<p>衣食、光熱費など日常生活の需要を満たすために必要な費用を個人の年齢、また世帯の人数などで算定されます。</p>
<p>住宅扶助</p>	<p>家賃、地代、住宅の補修などの費用が定められた限度額内で支給されます。</p>
<p>教育扶助</p>	<p>子どもが義務教育を受けるための学用品、給食費など最低限必要な経費が支給されます。</p>
<p>医療扶助</p>	<p>医療費は現物支給となるため、保険適用内のものについては、自己負担が発生しません。なお、治療材料や施術などの希望がある場合には、福祉事務所へご相談ください。 調剤については、医師が専門的な判断に基づいて、後発医薬品の使用を認めている場合は、原則として、後発医薬品をご使用してください。</p>

<p>かいごふじょ 介護扶助</p>	<p>かいごにんてい う かいご サービスをうけるさい 介護認定を受けているかたが介護サービスを受ける際 のじこふたんぶん げんぶつしきゅう じこふたん はっせい の自己負担分も現物支給となるため、自己負担が発生し ません。なお、かいご サービス（じゅうたくかいしゅう ふくしようぐ 介護サービス（住宅改修、福祉用具 こうにゅう ふく りようきぼう ばあい ふくしじむしょ 購入を含む）の利用希望がある場合には、福祉事務所へ ごそうだん ご相談ください。</p>
<p>しゅっさん ふ じょ 出産扶助</p>	<p>しゅっさん ひよう げんどがくない しきゅう 出産にかかる費用について、限度額内で支給されま す。</p>
<p>せいぎょう ふ じょ 生業扶助</p>	<p>こうとうがっこう ひよう しゅうしょく ひつよう 高等学校にかかる費用や就職するために必要と なるぎのう しかくしゅとく ひよう しきゅう なる技能、資格取得にかかる費用が支給されます。</p>
<p>そうさい ふ じょ 葬祭扶助</p>	<p>せたいいん な さい ひつよう そうぎひよう 世帯員が亡くなった際に必要な葬儀費用などについ て、げんどがくない しきゅう て、限度額内で支給されます。</p>

## ● 保護費の支給方法

### ① 毎月の保護費

保護費は、原則として毎月5日（5日が土日、祝日に当たる場合は、その直前の平日）に指定の金融機関へ振込みを行います。

### ② 臨時の保護費

アパートの契約更新料や通院交通費など、臨時で必要となる一時的な保護費については、翌月分の保護費に合わせて支給するか、臨時的に支給することもできます。

## ●生活保護を利用するかたの権利

生活保護を利用するかたには、次のような権利が保障されます。



1. 条件を満たせば、すべてのかたが平等に生活保護を利用できます。

2. 正当な理由なく、保護費の減少や生活保護を利用できなくなるようなことはありません。

3. 受取る保護費や保護の物品に対して、税金がかけられたり、差し押さえられたりすることはありません。

※生活保護の変更、停止、廃止などは文書でお知らせしますが、決定の内容に不服があるときは、その決定を知った日の翌日から起算して3か月以内に県知事に対して、審査請求をすることができます。

## ● 生活保護を利用するかたの義務

### 1. 生活向上に向けた努力をする。

働けるかたはその能力に<sup>お</sup>応じて、働いて収入を得ることができるよう努めてください。病気やけがで働けないかたは、病院を受診し、治療に専念してください。

### 2. 保護費を支給目的のために使う

住宅の家賃、教材費などの学納金は、それぞれの用途のために支給しているものですので、滞納などがないようにしてください。家賃については、代理納付として福祉事務所が債権者に直接振込を行うことがあります。

### 3. ケースワーカーの指示に従う

ケースワーカーから、生活保護の目的の達成に必要な指示や指導を受けたときは、これに従わなければなりません。

## ●<sup>とど</sup> <sup>で</sup> <sup>ひつよう</sup> 届け出が必要なもの

<sup>せいかつじょうきょう</sup> <sup>へんか</sup> 生活状況に変化があったときは、<sup>ほこひ</sup> <sup>ちょうせい</sup> <sup>ひつよう</sup> 保護費を調整する必要があるため、<sup>かなら</sup> <sup>ほうこく</sup> 必ず報告をしてください。

<sup>せたいじょうきょう</sup> <sup>へんか</sup> <sup>れい</sup> 世帯状況に変化があったとき（例）

- <sup>じゅうしょ</sup> <sup>か</sup> 住所が変わるとき  
(<sup>てんきょ</sup> <sup>かなら</sup> <sup>じぜん</sup> <sup>そうだん</sup> 転居などについては必ず事前に相談をしてください)
- <sup>かぞく</sup> <sup>へんか</sup> 家族に変化があったとき  
(<sup>しゅっせい</sup> <sup>しぼう</sup> <sup>てんにゆうてんしゅつ</sup> <sup>にゆうたいがく</sup> <sup>きゅうがく</sup> <sup>そつぎょう</sup> 出生・死亡・転入転出・入退学・休学・卒業・  
<sup>にゆうたいいん</sup> <sup>じこ</sup> <sup>けっこん</sup> 入退院・事故・結婚など)
- <sup>しゅうしょく</sup> <sup>りしょく</sup> 就職や離職をしたとき • <sup>けんこうほけん</sup> <sup>しかく</sup> <sup>しゅとく</sup> <sup>そうしつ</sup> 健康保険の資格を取得や喪失  
したとき
- <sup>きせい</sup> <sup>いえ</sup> <sup>ちようきかんるす</sup> 帰省などで家を長期間留守にするとき • <sup>せいめいほけん</sup> 生命保険などの  
<sup>かにゆう</sup> <sup>かいはく</sup> <sup>めいぎへんこう</sup> 加入、解約、名義変更をしたとき
- <sup>やちん</sup> <sup>ちだい</sup> <sup>へんこう</sup> 家賃・地代が変更されるとき
- <sup>その</sup> <sup>た</sup> <sup>せいかつじょうきょう</sup> <sup>おお</sup> <sup>へんか</sup> その他生活状況に大きな変化があったとき

<sup>しゅうにゆう</sup> <sup>へんか</sup> <sup>れい</sup> 収入に変化があったとき（例）

- <sup>まいつき</sup> <sup>きゅうよ</sup> <sup>う</sup> <sup>と</sup> 毎月の給与を受け取ったとき、また<sup>しょうよしゅうにゆう</sup> 賞与収入があったとき
- <sup>ねんきん</sup> <sup>こうてきてあて</sup> 年金などの公的手当があったとき
- <sup>せいめいほけん</sup> <sup>にゆういんきゅうふきん</sup> <sup>かいはくへんれいきん</sup> 生命保険の入院給付金や解約返戻金があったとき
- <sup>こうつうじこ</sup> <sup>いしやりょう</sup> <sup>ほしょうきん</sup> 交通事故の慰謝料、補償金などがあったとき



- 債務整理（個人の借金を整理すること）による過払金があった

たとき

- 不動産などの資産の売却益があったとき
- 相続、養育費、仕送りなどの収入があったとき

※上記は一部で収入はあらゆる収入の申告が必要です。

収入申告を適正に行えば、次のような控除※や、収入とし

て認定しない取り扱いができることがあります。

※控除→収入から除かれる（差し引かれる）ことです。控除さ

れた分は手元に残ることになります。

しゅうろうしゅうにゆう たい こうじょ 就 労 収 入 に対する控除	
① きそ こうじょ 基礎控除	しゅうろうしゅうにゆう ばあい きゅうよ そうがく おう 就 労 収 入 がある場合は、給 与 総 額 に 応 じ いてい きんがく こうじょ て、一定の金額が控除されます。
② みせいねんしゃ こうじょ 未成年者控除	みせいねんしゃ しゅうろう ばあい きそ こうじょ 未 成 年 者 が 就 労 した場合は、基 礎 控 除 の ほ か いてい きんがく こうじょ に一定の金額が控除されます。
③ た その他の ひつよう けいひ 必要経費	しゃかい ほけんりょう しょとくぜい つうきん こうつうひ ひつよう 社 会 保 険 料、所 得 税、通 勤 交 通 費 などの必要 けいひ こうじょ 経 費 が 控 除 されます。
こうこうせい しゅうにゆう 高 校 生 の アル バ イ ト 収 入	
こうこうせい しゅうにゆう じゅぎょうりょう ぷそくぶん しゅうがく 高 校 生 の アル バ イ ト 収 入 の うち、授 業 料 の 不 足 分 や 修 学 りょこう ひ がくしゅうじゅくだい だいがく せんもん がっこう にゅうがくきん そうき じりつ 旅 行 費、学 習 塾 代、大 学 ・ 専 門 学 校 の 入 学 金 等 早 期 自 立 に あ みと しゅうにゆう にんてい と 充 て ら れ る と 認 め ら れ た も の は、収 入 と し て 認 定 し な い 取 り あつか 扱 い と な り ま す。	

※その他自立更生に充てられると認められるものについても、  
しゅうにゆう にんてい と あつか ばあい  
収 入 と し て 認 定 し な い 取 り 扱 い が 可 能 な 場 合 が あ り ま す の  
で、しんこく そうだん  
申 告 す る と き に ご 相 談 く だ さ い。

### せいかつほごほうだい じょう 生 活 保 護 法 第 61 条

ひ ほごしゃ しゅうにゆう ししゅつ ほかせいけい じょうきょう へんどう  
被 保 護 者 は、収 入、支 出 そ の 他 生 計 の 状 況 に つ い て 変 動  
があつたとき、また きょじゅうちも せたい こうせい いどう  
が あ つ た と き、又 は 居 住 地 若 し く は 世 帯 の 構 成 に 異 動 が あ つ た と  
きは、すみやかに、ほご じっしきかんまた ふくしじ むしょちょう むね  
保 護 の 実 施 機 関 又 は 福 祉 事 務 所 長 に そ の 旨 を  
とど で  
届 け 出 な け れ ば な ら ない。

# ● 生活保護基準

## ◎ 生活扶助基準（令和2年10月1日現在）

生活扶助基準は、世帯の人員や年齢により異なります。算出方法は最低生活費認定調書によりますが、詳しくは生活福祉課にお尋ねください。

### 参考例①

70歳単身世帯の場合 71,940円

### 参考例②

65歳夫・63歳妻の二人世帯 116,980円

### 参考例③

33歳夫・29歳妻・4歳のこどもの三人世帯 142,630円

生活扶助費には、母子世帯や重度障害者世帯等については加算が付加されます。

## ◎ 住宅扶助基準

単身世帯	47,700円	※床面積が15m <sup>2</sup> を超える場合
二人世帯	57,000円	
3人～5人世帯	62,000円	

※最低生活費と収入額を比較して、その不足額が生活保護費として支給されます。ここで説明されていることは概略ですので、詳しくは生活福祉課までお尋ねください。

# ● 福祉事務所以外のお問い合わせ・相談先

## ○ 所沢市あったかサポートセンター（所沢市社会福祉協議会）

経済的な問題や日常生活などで困っていることはありませんか？

所沢市あったかサポートセンターでは、ご本人が抱えている問題をお聞きし、支援員が寄り添いながら解決に向けた継続的な支援を実施しています。

〒359-111 所沢市泉町1861番地の1（所沢市こども

と福祉の未来館1階福祉の相談窓口内）

電話番号 04-2968-3960

月曜日から金曜日の午前9時から午後6時まで（祝祭日や年末

年始は除きます）

## ○ 民生委員

各地域には、生活に困っているかたの見守りや相談に乗ってくれる民生委員がいます。福祉事務所と協力関係にありますので、お近くの民生委員にもぜひご相談ください。

**メモがき**

〒359-8501 ところざわしなみき ちょうめ ばんち 所沢市並木1丁目1番地1

ところざわしふくしじむしょ 所沢市福祉事務所 ところざわしやくしょ (所沢市役所 せいかつふくしか 生活福祉課)

でんわばんごう  
電話番号 04-2998-9201